

(第5回)札幌市子どもの権利条例制定検討委員会会議結果報告書

・・・日時・・・

平成17年(2005年)9月10日(土) 18:00 ~ 20:30

・・・場所・・・

STV北2条ビル会議室A B

・・・出席者・・・

委員:20名(欠席:5名)

事務局:子ども育成部長、子どもの権利推進課長、

子どもの権利推進担当係長、子どもの権利推進担当職員

教育委員会:指導担当部指導担当課指導担当係長、総務部総務課事務職員

会議結果報告書

| | |
|-------|--|
| 会議名称 | 第5回札幌市子どもの権利条例制定検討委員会 |
| 日時・会場 | 平成17年9月10日(土) 18:00~20:30 S T V北2条ビル6階会議室A・B |
| 出席委員 | 20名出席(5名欠席) |
| 次回開催 | 平成17年9月18日 13:00~ S T V北2条ビル7階5号会議室 |

| 議題 | 意見等 |
|---------------------|---|
| 1 中間答申原案の執筆者 | <p><委員長提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長から提案された「中間答申原案執筆者」(別添)において、執筆担当の割振りが示され了承された。 |
| 2 懇談会・出向き調査に基づく部会報告 | <p><親部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「権利と義務」について検討委員会として議論する必要がある。 ・「子どもの権利を守るためには家族ががんばる」という考え方では、障がいや虐待などの問題に直面している家庭にとっては負担が増すだけの結果になる。 <p><子どもの指導者部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利を考える視点として、上田市長の発言や、子どもの権利条約締約国に対する国連勧告を考慮する必要があるのではないかと。 ・子どもの権利を保障するためには、子どもに関わる大人たちの権利の保障も大切。 ・懇談会を通じて、行政に対する苦言として、子どもの権利に関するPRの不足や行政内の連携の問題などが指摘されていた。 (検討委員会としても、効果的なPR方法について検討していく。) <p><地域部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関わる仕事をしている大人の中にも、子どもの権利条例を制定する必要性を感じていない人はいる。制定過程の段階から、条例の必要性を多くの人に共有してもらえるように取組を進めることにより、制定後の条例に実効性を持たせることができるのではないかと。 ・懇談会や出向き調査を通じて、子どもと実際に接することによるメリットを実感した。これからも子どもと共に取り組めるような場を設けたい。 <p><中・高校生部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が子どもに正面から向き合えば、子どもはきちんと応じてくれることを実感した。 ・中・高校生は、大人の言動やマナーに対して厳しい目で見ている。クラスの仲間に対しては、互いの価値観を考慮しながら一定の距離を保って接している。 ・条例について、子どもに理解できる表現や内容を検討する必要がある。 ・高校生について、条例づくりに関わりたいと感じている子どもと、関係ないと感じている子どもの2極化を感じた。 ・児童会館のリーダーに対する出向き調査では、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の中で最も大切なものは?との問いに対して「生きる権利」との回答が最多であった。 <p><幼児・小学生部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会に参加した子どもの中には、懇談会に参加することによって、自分が直面しているいじめなどの問題が解決されるのではないかと考えていた子どもがいた。 ・「友達を大切にしたい、友達と相談をし合える関係になりたいと思っても、現実の教室では思うとおりにはいかない」「いじめの問題は子ども同士だけでは解決できないので、大人に解決して欲しい」「先生は忙しそうなので、相談を持ちかけるのを遠慮してしまう」等の意見があった。 ・出向き調査で実施した幼児・小学生部会オリジナルのアンケートでは、「生きていくときに大切なものは?」との質問に対して、「家族と暮らすこと」という選択肢を選んだ子どもが最も多かった。 ・周りの大人や友人の意見に流され、自分の意見が言えない子どもたちもいた。 |
| 3 10月29日のフォーラムについて | <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムの内容については、原則として対象を高校生以上に設定し、フォーラム準備人が中心となって検討する。 |